



田島中学校区 将来の学校を考える会 ニュース

平成30年9月6日発行 第7号

こどもの将来、学校の将来、



まちの未来

生野区では、学校規模の適正化をはかるだけでなく、新たな学校での教育環境の充実、子育て環境の充実、災害に強いまちづくりを通じて、まちの活性化をめざす計画として、「生野区西部地域学校再編整備計画」を推進しており、議論のたたき台となる「田島中学校区学校整備計画（素案）」をもとに保護者・地域住民のみなさんと具体的な意見交換を進めています。

田島中学校区 将来の学校を考える会（以下、「考える会」といいます）（第7回：平成30年6月26日（火）・第8回：平成30年7月24日（火））が開催されましたので、協議内容等をご報告いたします。

第7回・第8回「考える会」で意見交換されたテーマ

- (1) 学校設置協議会について
- (2) 他都市の跡地活用事例について
- (3) 生涯学習ルーム事業・学校体育施設開放事業について

(1) 学校設置協議会について



事務局からのご説明内容

- ✓ 考える会では、行政が作成したたたき台である「学校整備計画（素案）」〔以下、素案〕をもとに意見交換をいただいております。その内容を参考に、現在、「学校整備計画（案）」〔以下、案〕を作成するため、素案の修正を行っており、案の完成次第、最終的な内容についての説明会を行います。その後、再編に進むための具体的な項目を協議・決定していく場として学校設置協議会〔以下、協議会〕を立ち上げるため、各地域のまちづくり協議会、各学校のPTAにご協力をお願いする流れとなります。
- ✓ 協議会の位置づけは、新学校設置に向けて決めなければならない開校時期、校名等の詳細な内容を話し合う場です。検討項目として、校章、校歌、通学路の安全対策等が挙げられますが、協議会の中で必要があると判断された項目についても議論する形となります。
- ✓ 協議会の構成としては、各地域のまちづくり協議会、各学校のPTAから委員の推薦をいただく形を予定しています。また、協議会では一から議論を行うのではなく、PTAからの推薦委員で構成される専門部会を設け、課題整理や案のとりまとめなどを行い、専門部会での議決内容を協議会にて諮る形を想定しています。
- ✓ 学校における実際の教育内容については、各学校・教育委員会事務局が中心となり検討していく予定ですが、その検討過程や結果については協議会にて報告を行い、ご意見をいただくという進め方を考えています。

いただいた主なご意見

- ★ 以前に子どもが減った原因は交通が不便なためであり、学校再編について再考を依頼していたが明確な返答がない。田島中学校でボーリング調査を行っているという事実があり、地域からも委員に対して、勝手に再編の計画案を進めることを承諾しているのではないかという不信感を持たれている。

この将来の学校を考える会は何かを決定する場ではありませんし、行政としても、再編の計画案について委員の皆様の承諾をいただいたという認識はありません。そういったこともご理解いただくために、地域へ伺って説明させていただく機会を設けたいと思っています。また、ボーリング調査については、あくまで設計業務を行うための事前調査の一環であり、工事が始まったわけではありません。

行政



(2) 他都市の跡地活用事例について

事務局からのご説明内容

- ✓ 自治体が賃料収入を得ながら民間に活用いただいている例を中心に、4つの事例をご紹介します。
- ✓ 千葉県旧長尾小学校の事例は、廃校後に民間団体が入り地域コミュニティ施設として活用されているものです。
- ✓ 東京都旧四谷第五小学校は、事業者が入っている事例で、大阪市での地域防災計画にあたる計画上の避難所にはなっていないものです。ただし、町会長が鍵を所持しており、災害時には避難スペースとして提供される形となっています。
- ✓ 愛知県旧黄柳野小学校の事例では、自治体の施策として賃料を取らずに貸し出しをしているもので、避難所に指定されています。
- ✓ 東京都旧大明小学校の事例は、卒業生、PTA関係者、近隣の町会の方などで構成されたNPO法人が管理・運営をしているもので、主に施設貸出し事業や地域交流イベントを行っています。

いただいた主なご意見

- ★ 他の事例より、田島中学校区でこうしたいということを提案してほしい。

今回はあくまで他都市の事例を紹介しました。避難所として残すことを前提に、地域のニーズやご意見をお聞きしながら、まちづくりとして総合的に考えて活用方法を決めていきたいと、考えています。

行政

- ★ 避難所となる場所は地域には、学校の敷地しかない。先日のお阪府北部地震で住民の皆さんも避難について敏感に考えるようになった。NPOや民間で跡地を維持するのは無理だと思っている。仮にNPOや民間が管理することになれば、いざと言うときに避難所として使えないのではないか。この不安点が解消できないと地域は納得できない。

地域の防災がどうなるかということが見えないと、進められないかと思います。今後、行政から地域へ伺ってご説明をさせていただきたい。

行政

(3) 生涯学習ルーム事業・学校体育施設開放事業について

- ✓ 生涯学習ルーム事業は小学校ごとに運営委員会を設置となっており、新たな学校の開校の際には、新たな小学校区単位で運営委員会を設置することになります。
- ✓ 学校体育施設開放事業についても、学校ごとで運営委員会を設置することとなっていますので、新たな学校の開校の際には、新たな運営委員会となります。
- ✓ 新たな小学校での生涯学習ルーム事業の活動をご検討いただきたいですが、各校区で現在行っている活動について、皆さんのニーズをお聞きしながら、可能な限り継続できるよう、跡地活用の中で引き続き検討を行っていきます。
- ✓ 学校体育施設開放事業についても、生涯学習ルーム事業と同様、跡地活用の議論の際に利用のニーズについてご意見をいただきながら検討を進めていきます。

その他でいただいた主なご意見

- ★ 児童数は過去の予想より増えており、今後多く増えるとは思えないが推移は改善傾向にある。本来はまちづくりと並行して学校再編を考えるべきではないか。新築の家も増えており若い世代が増えていると感じている。小中一貫校のメリットは理解しているが、学校再編を急ぐ必要はあるのか。
- ★ 個人的には地元の小学校を残してほしいが、一方で子どもの人数の問題があり、教育環境を良くしてくれるのであれば進めてほしい部分もある。

新築が増えているのは確かですが、現実的に小学校のクラスが増えるまでは児童数は増えていません。行政としても再編を急いでいるわけではありませんが、本来もっと早くから取り組むべきであったが今までできていなかったことであるので、今の子どもたちのために進めていきたいと考えています。

行政

- ★ 小学校の児童数よりも、中学校の生徒数が気になるところで、人数の影響が大きいのは小学校よりも中学校である。

小学校の再編のあるなしに関係なく、中学校の教育環境がよくなり充実させられるよう進めていきます。

行政

- ★ 以前に反対と話をしたが、地域にとって小学校は災害時に必要である。私たちは再編に合意していないのに、概ね合意されているという話がなされているように聞いている。会議で出た意見をきちんと受け止めていただきたい。

学校整備計画案を作るにあたって、皆さんのご意見を反映させていくためにこの会議をスタートしています。この会議は何かを決定する場ではありませんし、再編に合意いただいたとの認識もありません。子どもたちの教育環境をより良くしていくという方針で進めていきますが、地域の安全や活性化を置き去りにして進めることはありません。

行政

- ★ 反対との意見があったのに、考える会のニュースに明記されていない。そのような広報の仕方はいかがなものか。

厳しい意見も含めてニュースには記載しています。いただいた意見はしっかりと載せていきます。

行政

- ★ 跡地を維持するには経費が必要となる。NPO等で維持するのは無理だと思っている。学校がなくなってしまうと不安である。
- ★ 学校がなくなってしまうのは寂しいが、これだけ子どもの数が少なくなれば再編は仕方がないと思っている。

避難所機能の確保は区役所の責任であり、区役所がきっちりと行っていきます。まずは子どもたちの教育環境を一番に考え、その上で跡地活用について地域の活性化も考えながら進めていきます。

行政

- ★ 中学校に新校舎を建てるとなると、工事期間の2年間グラウンドを使用できなくなる。部活動が制約されることになり、指定校変更でほかの学校へ逃げられると思う。

教育環境の改善を図るために、工事が必要となってきます。工事にあたって影響が出るところに対してはしっかりと対応を図っていきます。

行政

- ★ 中学校での再編案はリスクが大きい。田島小学校での再編案も考える必要があるのではないか。
- ★ 田島小学校での再編案は、生野南地域から遠すぎるために反対が多く、中学校での再編案となったと認識している。
- ★ もっと小規模な学校から再編をしたらよいのではないか。なぜ田島中学校区を急いで進める必要があるのか。

田島中学校区を先に進めているということではなく、各中学校区の状況を踏まえて進んでいるだけです。教育委員会・区役所としてはできるだけ早く区内すべての学が適正規模となるよう取組を進めています。

行政

- ★ 保護者や地域住民の理解が得られなくても再編は進めるのか。

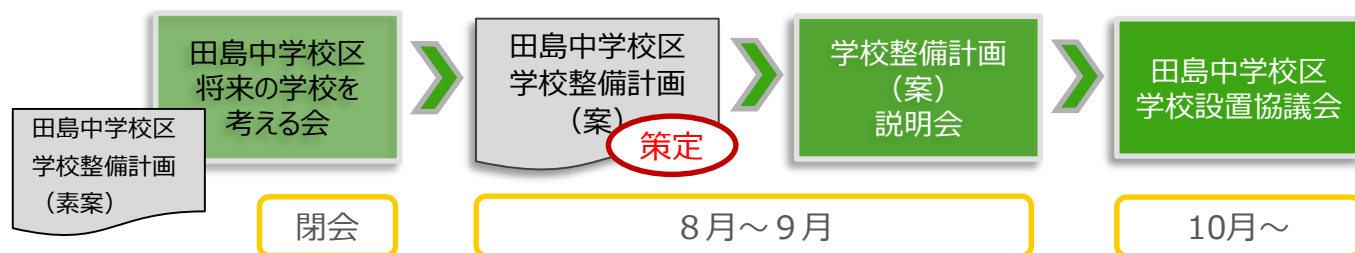
単学級を解消していくというのは大阪市の方針で、今の学校がそのまま続くということにはなりません。ほとんどの方の理解が得られていない中で強行するということはありません。ご理解いただけない点をお伺いし、一つずつ不安点を解消いただけるよう説明をさせていただきます。

行政

～ 確認事項 ～

- ✓ 今回をもって当初想定の見解交換テーマは終了し、さらに議論を深めたいテーマ等の意見もないことから、将来の学校を考える会を閉会とする。

田島中学校区の学校再編に関する今後の動き（予定）



詳細は下記事務局へお問い合わせください。

学校再編に関する情報は生野区ホームページでもご覧いただけます。

生野区西部地域学校再編の動き

検索



発行

田島中学校区
将来の学校を考える会 事務局
(生野区役所 地域まちづくり課)
電話: 06-6715-9920